



です。物語を共有して驚いたり、喜んだり、悲しんだりできることはとても楽しいですし、充実感があります。特に子どもの反応は正直なので、これからも意識を高くもって臨みたいと思います。家庭で読みかせができない方も図書館に来て、親子で聞いて、親子で感動していただけたら新しい展開があると思います。お忙しいお父さん、お母さんの代わりに読んでいるような気持ちもありますので、子どもたちの読書環境を豊かにするきっかけになればと思っています。

議会
読みかせを通して子どもたちに伝えたいことを教えてください。

りんご畑

お話を聞いて、自分で登場人物の気持ちや情景を想像してほしいと思います。先に動画を見てしまうと、どうしても動画製作者のイメージが先行してしまいます。まずは、自分の頭の中で想像することで視野を広げて、新しい視点で考えられるようになってもらいたいです。私たちが小学校で読みかせをするときは、国語の教科書に関連するものの一つは選ぶようにしています。宮沢賢治の「ざしき童子のはなし」を暗記して語りで聞いてもらったり、斎藤隆介の「ひいふう山の風の神」を朗読劇にしたりしながら、子どもたちの想像力を膨らませ、そして「教科書に載っているお話がこんなに面白かったのか」と気づいてもらいたいと思います。活字の中には、わくわくするお話がたくさん詰まっていることを子どもたちに知ってもらえたら嬉しいことです。



議会

今後、ボランティアを始めたい方へメッセージをお願いします。

りんご畑

ボランティアは、例えば子育て中でもご自身の子どもと一緒に参加してもいいですし、年齢に関係なく続けることができます。仕事を退職したら、子育てが終わったと考えるかもしれませんが、私はもっと早く活動していれば良かったと後悔しています。続けることで、日常生活に緊張感が生まれ、自身の認知症の予防にもなります。なにより、仲間が出来て嬉しいのです。何かを始めるのに、早すぎることも遅すぎることありませんので、新たな一歩を踏み出すことをためらわないで、機会があったら飛び込んでみてほしいです。

(令和3年12月インタビュー)

※写真撮影時のみマスクを外していただきました。市民インタビューは感染対策を徹底して行ってまいります。

【常総市立図書館】

読みかせボランティア団体一覧

- ・ 水海道川東
- ・ 水海道川西
- ・ おはなし会「歩」
- ・ おはなし会あすなろ
- ・ 石下ボランティアの会ひばりグループ
- ・ 読みかせグループ「りんご畑」